

ケンブリッジ＝ミルトン・キーンズ＝オックスフォード成長回廊

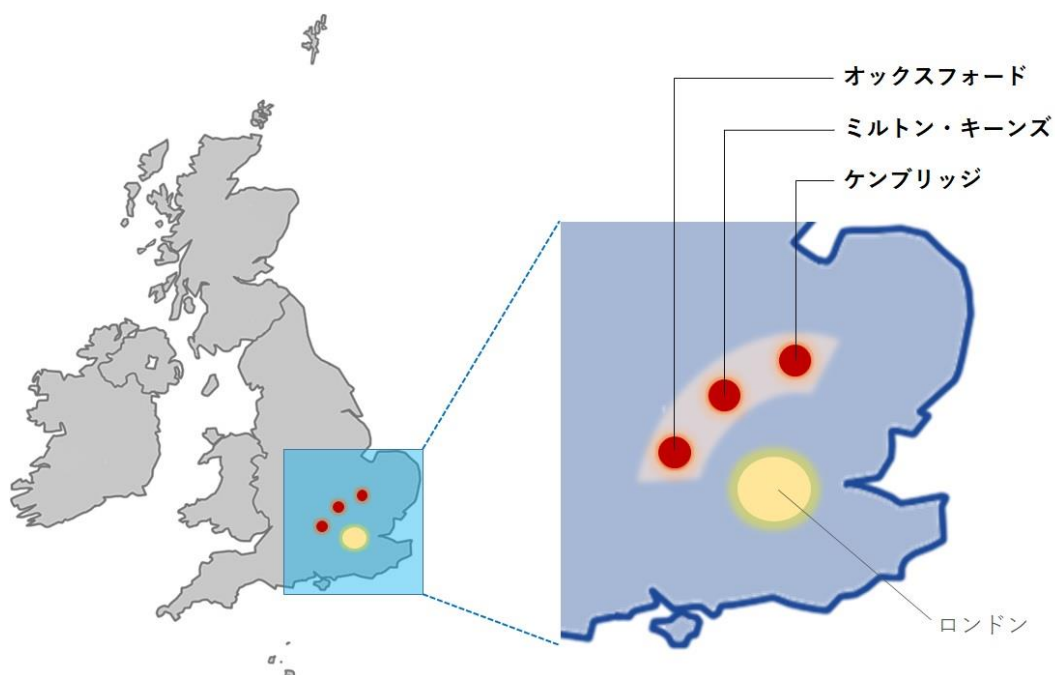
ケンブリッジ（Cambridge）＝ミルトン・キーンズ（Milton Keynes）＝オックスフォード（Oxford）成長回廊（略して“CaMKOx”又は“CamOx”と呼ばれる。）は、世界的に著名な大学都市「オックスフォード」と「ケンブリッジ」を結ぶ経済地理学上の重要エリア（活動地域）における国と地方自治体の長期戦略に与えられた名称だ。それ以前の取り組みを経て、まず 2003 年にオックスフォード＝ケンブリッジ・アーク（Oxford to Cambridge Arc）が 3 つの地域開発公社（Regional Development Agencies: RDA）によって開始され、2016 年には、財務省の委託に基づき政府執行機関の全国インフラ委員会（NIC: National Infrastructure Commission）が実施した調査によって国家資産に指定された。現在、オックスフォードとケンブリッジを結ぶ活動地域におけるグローバル級の知識集約型クラスターでは、このエリアをカバーする新たなガバナンスと必要な投資について検討が行われており、2050 年までに新たに 100 万世帯分の住宅が供給され得ると予測されている。

人口（2017 年）：330 万人

GVA（粗付加価値）（2014 年）：905 億ポンド（2011 年物価換算）

主要都市：オックスフォード（17 万人） ミルトン・キーンズ（25 万 5 千人） ケンブリッジ（13 万人）

高等教育機関：ケンブリッジ大学、クランフィールド大学、オープン・ユニバーシティ、オックスフォード大学



2016年3月の予算で、当時の財務相は、全国インフラ委員会に対して、本成長回廊がシリコンバレーなどに比する世界的な地位の向上の潜在性を分析すること及びそれを可能にする政策提言を課したⁱ。これに先立ち2014年12月、3つのカウンティ（県に相当）による戦略的連合（Tri-County Strategic Alliance）ⁱⁱが形成された。この連合には、各カウンティを構成する上層、下層（市町村に相当）等ⁱⁱⁱの各地方自治体のリーダーや官民のパートナーシップであるLEP（Local Enterprise Partnership）^{iv}が参加した。同年11月^vの全国インフラ委員会の中間報告によれば、このようなグローバル規模の知識集約型クラスター形成の最大の課題は、住宅と交通の対応力であり、その克服に向けての戦略ビジョンの欠如が指摘された。

「委員会が認識した最大の課題は、住宅が十分かつ適切な形で供給されなければ、この地域の成功を根底から揺るがすリスクとなるということだ。住宅、雇用、インフラに関する成長回廊全域をカバーする一体的な戦略がなければ、国際競争に遅れをとることになる。東西を結ぶ新たな交通網は、そうした戦略に基盤を与えることが可能であり、地域の将来の成功を確保するための数十年に一度の好機となる。」

財務相は、秋の財務演説の中で、同委員会の中間報告の内容を歓迎する意向を示し、要望のあった交通網の改善に向けて、まずはオックスフォード・ケンブリッジ間の幹線道路と都市間の通勤に利用されるイースト・ウェスト・レールへの資金を約束した。また、成長回廊の住宅・交通に関して、開発公社の設立を含めた新しい実行モデル^{vi}について慎重に検討するとの考えも示した。

その一年後、同委員会は最終報告書^{vii}を発表し、成長回廊が年間の経済生産を900億ポンドから2500億ポンドに増大させる可能性がある^{viii}と結論づけた。ただし、その条件として、政府と地方のリーダーたちが協力して、できる限り早急にインフラ整備を進め、2050年までに100万戸の住宅新設という壮大な計画を実施することを挙げている。

「委員会が認識した主要な課題は、経済生産増大の可能性を現実のものとするためには、住宅建設の速度を倍にする必要があるということである。これには、中央政府と地方政府の間の新たな取り決めが必要となる。すなわち、東西を結ぶ新交通網の整備や新しい街の創出に伴う利益を官と民双方にもたらし、また、雇用、住宅、インフラに関する総合的な計画を通じたより急速な成長を目指す取り決めだ。」

さらに報告書では、成長回廊内の人口密度最適化のため、以下の提言が行われた。

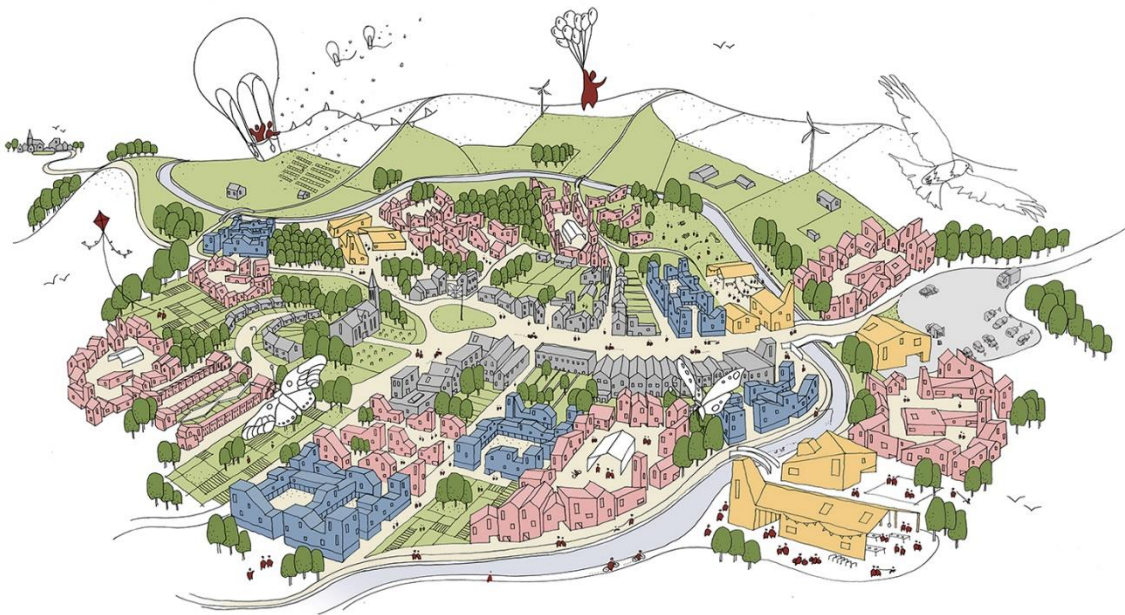
- ミルトン・キーンズの人口を50万人以上に増大させることを通じて、ミルトン・キーンズを国家的に重要な開発地域として再建すること。
- ビスター（Bicester）とブレッチリー（Bletchley）間の開発を行うことにより、数十万規模の人口を擁する地域を創出すること。
- ミルトン・キーンズとベッドフォード間の鉄道拠点周辺の集中的な成長を促す開発を行うこと。（特に、道路・鉄道網の強化によりベッドフォード周辺で）
- サンディー（Sandy）地域周辺の拡大を図ること。（特に、イーストコースト本線とイースト・ウェスト・レールの合流地点周辺で）
- ケンブリッジの西方に新しいガーデンタウンを開発し、ケンブリッジのベッドタウンとすること。

2017年秋の予算時に財務省が作成した「*Helping the Cambridge, Milton Keynes and Oxford corridor reach its potential*」の中で、財務相が全国インフラ委員会の提言を受け入れることが記された。そこには、2031年までに10万戸の住宅新設（2050年までに100万戸の目標）のための2億1500万ポンドが予算付けされたこと、新設される独立の民間企業により2024年までにイースト・ウェスト・レールを実現すること、オックスフォード・ケンブリッジ幹線道路を2030年までに完成させるとの公約（2018年までに路線計画を発表）、ケンブリッジにTech Nationの新たな拠点を設立すること等が含まれている^{viii}。また、オックスフォードシャー州に2億1500万ポンドの予算で2031年までに10万戸の住宅を新設する計画（住宅に6000万ポンド、インフラに1億5000万ポンド）を地元自治体と合意したことも（国と自治体の住宅に関する初のディール）発表された^{ix}。さらに、2017年10月の住宅白書には、オックスフォードシャー州における3つのガーデンタウンと村の創設が重点事項として言及されている^x。



主要都市の一つオックスフォードの中心部

経済問題に関する調査等の業務と並行して、全国インフラ委員会では、未来の成長回廊のあり方を探るため、2017年6月にプレイスメイキングのデザイン・コンペに着手した。同年12月、「VeloCity」という女性だけで構成されたチームが、成長回廊に沿って点在する村々の間を徒歩や自転車で結ぶビジョンを提示し、大賞を受賞した^{xi}。



VeloCity のコンセプト図

2018年1月には、イングランド経済中核戦略連合（England's Economic Heartland Strategic Alliance）が、ミルトン・キーンズ選出の国会議員を中心に、ケンブリッジ＝ミルトン・キーンズ＝オックスフォード成長回廊超党派議員団（APPG）を結成した^{xii}。またそこには、2018年中にイングランド南東部全域の交通を担う法定機関（協力関係にある Transport for the North と類似の組織）の設立に関する計画づくりというねらいもある。（運輸計画書に基づき 2020/2021 年度内に営業を開始するための議会承認を目指す^{xiii}。）これは、すでに発表されている同地域におけるインフラ整備の計画を加速化させていくためにも必須といえる。また、ノースハンプトンシャー州とバッキンガムシャー州の自治体再編（ユニタリー化）が承認され、オックスフォードシャー州も現在検討されている上、ケンブリッジシャー・ピーターバラ合同行政機構の首長も、ケンブリッジシャー州内で非ユニタリー地域のユニタリー化に興味を示したことも追記しておく^{xiv}。

ⁱ <https://www.milton-keynes.gov.uk/pressreleases/2016/mar/mk-at-heart-of-uk-s-knowledge-corridor-highlighted-in-budget>

ⁱⁱ 2015 年 11 月からはイングランド経済中核戦略連合と名称変更。

ⁱⁱⁱ 英国のイングランド内には、一層制、二層制の地方自治体が混在している。

^{iv} <http://www.englandseconomicheartland.com/Pages/strategic-leadership.aspx>

^v <https://www.nic.org.uk/publications/national-infrastructure-commissions-interim-report-cambridge-milton-keynes-oxford-corridor/>

^{vi} <https://www.nic.org.uk/news/national-infrastructure-commission-autumn-statement-response-government-acceptance-nic-recommendations-welcome-armitt/>

^{vii} <https://www.nic.org.uk/news/adonis-new-infrastructure-can-bring-first-new-towns-half-century-billions-national-economy/>

^{viii} <https://www.gov.uk/government/publications/helping-the-cambridge-milton-keynes-oxford-corridor-reach-its-potential>

^{ix} <https://www.gov.uk/government/publications/oxfordshire-housing-deal>

^x <https://www.gov.uk/government/news/25m-cash-boost-for-garden-towns>

^{xi} <https://www.nic.org.uk/news/velocity-wins-growth-arc-ideas-competition/>

^{xii} <http://www.englandseconomicheartland.com/latest-news/Pages/oxford-milton-keynes-cambridge-corridor-all-party-parliamentary-group-launched.aspx>

^{xiii} ii を参照。

^{xiv} <http://www.publicsectorexecutive.com/News/mayor-james-palmer-a-remarkable-chance-to-do-things-differently>